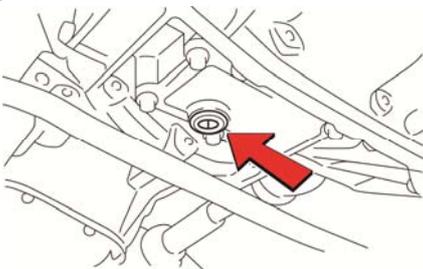
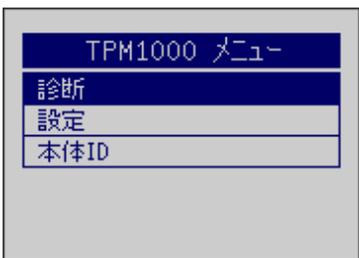
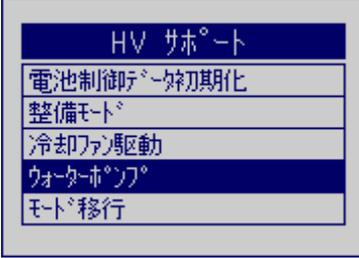
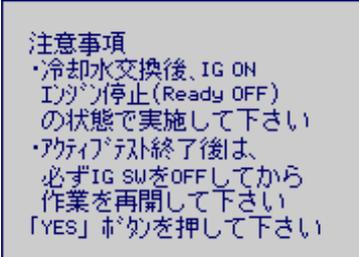


プリウス α の冷却液（インバータ用） 取替方法 (ZVW40 型系)

1.	エンジンカバーを取り外します。
2.	インバータカバーを取り外します。
	火傷の危険を避ける為、冷却液（インバータ用）が熱い状態の時は、インバータカバーを外さないで下さい。
	排出した冷却液は回収して容量を測定し、補充時に同容量以上補充された事を確認して下さい。
3.	図の位置のドレンプラグを外し、冷却液を抜き取ります。 
4.	新品のがasketを介して、ドレンプラグを取り付けます。 基準値：T=39N・m (398kgf・cm)
5.	ドレインより抜き取った冷却液量を測定します。
6.	インバータサブタンクより冷却水を補充します。 ■参考■ インバータ用冷却液全容量：2.7L
7.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。
8.	シート位置 P ポジションであることを確認し、イグニッションスイッチを ON にします。(ブレーキペダルを踏まずに、パワー(イグニッション)スイッチを 2 回押します)
9.	[診断] を選択します。 

10.	[TOYOTA] を選択します。 
11.	[作業ポート] を選択します。 
12.	[HV] を選択します。 
13.	[ウォータポンプ] を選択します。 
14.	注意事項を確認し、[YES] ボタンを押します。 
	整備モードにいれることでも、ウォータポンプを作動させることができます。
15.	インバータサブタンク FULL 付近で水位を保つように冷却水を補充しながら、ウォータポンプを約 1 分間作動させ、その後 1 分間停止させます。 左右矢印ボタンの操作で、ウォータポンプを [ON][OFF] します。



基準：3 回程度作業を繰返し、「ウォーターポンプの作動音が小さくなる」および「インバータリザーブタンクから覗いて気泡が出なくなる」の状態になれば、冷却水のエア抜きは完了です。

■参考■

- ・ウォーターポンプは空転が約 5 秒続くと保護回路が働き、約 15 秒間停止します。冷却水が補充されると自動復帰します。
- ・インバータリザーブタンクに冷却液を補充しすぎると、ポンプを停止させた後、冷却水があふれることがあります。

16.	エア抜きが完了したら、インバータリザーブタンクの FULL まで冷却水を補充し、インバータリザーブタンクを取り付けます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・回収量以上の冷却水が補充された事を確認して下さい。 ・冷却水系統にエアが混入した状態で走行した場合、ターボイグニッションが記憶されることがあります。
17.	[NO]ホックを何度か押し、[トヨタメニュー]まで戻ります。
18.	エンジンスイッチを OFF にします。
19.	TPM1000 を車両から外します。
	冷却液の漏れがないことを確認して下さい。
20.	エンジンカバーを取り付けます。